ハイタッチ通信　１１月号

E-mail：contact@high-touch.info

秋から冬にバトンタッチ

朝晩は寒くなってきましたね。秋らしい爽やかな日が続けば、日中は暑さが戻ったりして服装が迷う、季節の変わり目ですね。寒い冬にむかっていく秋を感じながら、今月も！子どもたちと一緒に活動を楽しみたいと思っています♪

10 月くらいには、通園されている幼稚園や保育園も運動会が終わったと聞いています。子どもたちの中には、心なしかホッとしたような姿や、運動会の報告を嬉しそうに話してくれる姿がありました。やはり運動会は子どもたちにとって、乗り越えて成長する大きなステップの一つなのだと改めて思いました。

ハイタッチでも運動会シーズンにあわせて、運動遊びには綱引きや玉入れなどの種目を取り入れました。例えば綱引きでは、綱を引っ張り合うことが難しい子どもたちに、ロープを付けた大きなアンパンマン人形をマットで隠し、子どもたちが引っ張ると同時にアンパンマンが飛び出してくるように設定しました。飛び出したアンパンマンに子どもたちは大興奮！まだまだ引っ張ったり踏ん張ったりする経験が少ない子どもたちに、引っ張るという動作を経験してもらいたかった思いがあります。 午後の子どもたちは、一人でも、友だちと協力してでも、大人と引っ張り合うことを楽しみ、しっかり引っ張る・踏ん張る・手繰り寄せるなどの動作を経験したり、勝ち負けの楽しさを味わうことができました。

１１月の療育①

運動あそび～秋のお出かけ～

◎室内で秋のお出かけごっこを楽しもう♪

・運動場に一本橋やトンネル、飛び石、スイング等で場面設定しハイキングに見立てて出発！！

体をかがめてトンネルをくぐり抜け、一本橋では川に見立てたブルーシートに落ちないようにバランスを取りながら渡ります。

・週ごとに内容にあう場面設定をし、サーキットの流れの中から秋のお出かけのイメージを子どもたちと一緒に共有し、運動への意欲につなげます。



１１月の療育②　砂遊び

◎キネティックサンドの感触をたっぷり味わおう♪

・ぎゅっと握る、丸める、押しつぶす等の感触や、指の間から砂がすり抜ける感覚を楽しんだり、ごっこ遊びにも取り組みます。

・砂をカップからカップに移し替えたり、落ちる砂の様子をじっと見ることも、砂遊びの醍醐味です！こぼれないように…と考えたり、容器に合わせて量や力加減を調節するなど、いつもの遊びの中に、色々なスキルを身に付けるヒントが隠れています☆





ふれあい遊び

ハイタッチでは登園してはじめの活動が【集まりの時間】になります。午前クラスの子どもたちにはその中で【ふれあい遊び】を取り入れています。

ふれあい遊びとは、歌や掛け声に合わせて親子でふれあう（スキンシップ）遊びです。
触れ合う時間を共有することで、楽しさや心地よさ、安心を感じられ心の土台を育てます。
また、自我の芽生えや安心感といった「心の発達」だけではなく、「体の発達」においても大切な役割を果たしています。

最近では、保護者の皆さんに子どもたちを「おんぶ」して頂き、「さんぽ」を歌いピタッと止まる遊びをしています。
「おんぶ」は心地よい揺れやぬくもりを感じながら大人と同じ視界を共有します。
そして、子どもたちが自分の体幹を使って、大人の体にしっかりと密着し体重をあずけることにより、ふんばりとリラックスのバランスを取ることにつながります。

様々なふれあい遊びを取り入れていますが、いくつになってふれあい遊びは子どもの情緒の安定につながるのですね。日常の身近な歌にのせて…等、子どもたちにとって分かりやすいのが良いのだと思います。ご家庭のオリジナルふれあい遊びを発見できたらいいですね。
ぜひ、子どもたちと一緒に試してみて下さい♪







お願い



いつも水筒の中身の補充にご協力いただきありがとうございます。
水筒にお名前を書いていただくと大変助かります。
よろしくお願いいたします。